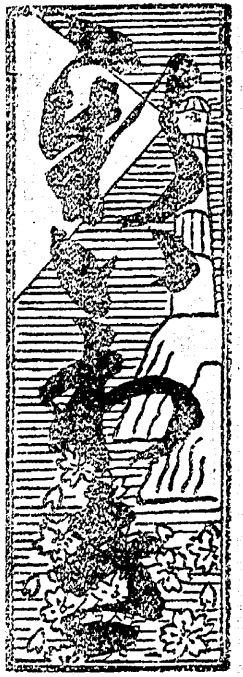


刊夕 日一十二月六



支那單語
苦力を五人雇つて来い
と云ふを雇五個苦力来
てクウウコクウイ
ライ、雇つて来ました
は雇来て了クウウイ
直ぐ工事にかけられと云
ふことをば就開工でテ
ウカイオンと呼んでる

四倉市場既に四萬貫

明日から漸く出廻り薄の模様

十六日から開場せる四倉市場は十八日一萬貫を越えて押寄せた前波に翌十九日は休場して整理に當り其れでも持込まれた二千貫ほどを八十三掛で取引、昨二十日は六萬八千貫の出荷を最高八三掛六分最低八〇掛、買馴れ八一掛の相場を取引、二十一日の出荷を合せて大体四萬貫に達した

植田署管下に産業報國會

七ヶ所に分けて

植田署管下十ヶ町村の各工場産業報國會の結成協議會は去る十九日同署樓上に於て開かれたが左記七ヶ所の地域前に報國會を結成する事になった

▲植田、錦、山田三ヶ町村
▲勿來町、川部、旅人二ヶ村
▲上野、入野、田人三ヶ村
▲吳羽紡績工場▲昭和三炭工場▲植田電力會社

ソラ豆千七百カ

石城の中央出荷一萬圓

石城産豆の共同出荷は去る十七日植田署から十五ト一車を皮切りに中央市場の好評を迎へてあるが引續いて錦町の五九九個(正味七廿日範入)及び入野村の一七二個が昨二十日取引され相場は左記の如くで尙ほ今後送る得るもの上野村の一七二個のほかに四倉、山田、田人等五五七個

自動車運轉手の窃盜

数名の一味で盗みと闇取引

石城郡泉村の小名濱港鐵道雇人トトラック運轉手高木正徳(三六)が助手馬場勝見(三三)と共に本年二月頃から常磐線泉驛構内にある丸通運送店の

くつた闇取引のあるをも暴露して連累者の小名濱町自動車小名濱町の自動車運轉手鈴木作太郎(三〇)同森崎(三三)の引致に引續き更に同関係十数名が取調べられる模様であつて前記佐川は主犯者と認められ一千三百圓の盗みのほかに去る四

戦地の便り

〇〇部を貫通

折之内太一
平市平窪出身

拜啓、初夏の候と相成り山は青葉に包まれて中支の地にも夏が来ましたが大陸氣候故暑さ寒さの變化が多いです、皆々様には其の後相

素人義太夫

自慢ののど

昨報平地方囃子自慢の集り素人義太夫温習會は明二十二日午後六時半開演、會場は平市公會堂日本間同好は故郷澤六兵衛さんを師とした若葉會で師匠の歿後大都會界の大家九代目澤六兵衛から稽古を受け名も竹水會と改めた久々の出語り「語り物」は昨報したが故郷澤六兵衛と井坂ひさこ三味線は鶴澤藤原、出演者の假名の盛名左の通り

▲千葉美代子 佐藤若福
▲田中才司 井坂ひさこ 鈴木謙三 矢口巴 郡司夏井とさいとーさい

身を以て國に報ず
平市番匠町出身 黒澤 惣三郎

ですが戦争してゐる所でも残敵の居る間は山中に隠れ居らなくては出来ず、せつせと働いて農夫の姿が見え

他人の山林を
我物顔で賣る

炭鑛坑夫の盗み
石城郡好間村の上野間大瀧炭吉方坑夫大瀧作太郎(三三)は去十五日午後一時頃平市白銀町松崎屋旅館方表玄關にあつた止宿人田中彰介所有の短靴一足價十五圓を盗み廿一日平窪に檢査され取調の結果五月廿四日夜内郷村後松月村こと羽田百代方に登樓の歸途庫裏の鏡台内にあつた短靴布田あさよの墓口を窃取し闇がたりで開けて見たら一文もなから散策してゐる気分は内地と少しも變りません、あまりの長閑さに日の暮るゝを忘れ

渡瀧の旅から

新妻善吉

五月二十六日の日曜を利用して東陵所を思ひ立ち市内在住の義弟一族と同伴前山からバスに乗つて出かけました、東陵は奉天を距る五里、貫片道三十餘、一時間を要します

演藝慰問團
一下の關着
一同元氣

それをもたぬ途が涼々しい慰問團に身を堅めて連日の苦辛を語る日焼けしたお顔皆様は僕らへ来られた時にはほんとうにうれしうござい、それにも抱はらず疲勞を忘れての熱演、汗になつて踊つて下さつて、將兵一同真から喜びました、有難う長途の旅に久々で相見える方々とあなただけの日焼けの顔が話題となることせう雲煙遠く幾山河旗から旅へ歸野の赤い日に照らされた皇軍慰問の名残りの満蒙の風雨のあと、大に威張つて下さい、梅雨の折柄御身御大切に御祈申します

感徳の禮狀
志前部隊本部

お歸りになつてから安心と共に急にお疲れが出たではないですか、本營に御苦勞さんでした、御禮申上ます

體協平支部の
體操講習會

平第一小學校で
休協平支部では来る二十五日から三日間第一小學校に於て本縣女師範佐藤廣四郎氏を講師に體操講習會を開催する

演藝慰問團
一下の關着
一同元氣

それをもたぬ途が涼々しい慰問團に身を堅めて連日の苦辛を語る日焼けしたお顔皆様は僕らへ来られた時にはほんとうにうれしうござい、それにも抱はらず疲勞を忘れての熱演、汗になつて踊つて下さつて、將兵一同真から喜びました、有難う長途の旅に久々で相見える方々とあなただけの日焼けの顔が話題となることせう雲煙遠く幾山河旗から旅へ歸野の赤い日に照らされた皇軍慰問の名残りの満蒙の風雨のあと、大に威張つて下さい、梅雨の折柄御身御大切に御祈申します

文齋文堂
本店 電話三一三番

文齋文堂
本店 電話三一三番

